

北海道におけるパワハラ相談事例

上司からの日常的な暴言

相談者は正社員として勤務していたが、上司から「バカ」「クズ」等といった侮辱的な発言や人を見下した言葉で詰め寄ってくるといった暴言などを日常的に受けており、責任者に相談し、対応を約束してもらったものの、調査や指導が適切に行われず、改善していないことから、職場環境の改善を求めたい。

相談者のみ情報を知らせず、繰り返しの退職勧奨

相談者だけ連絡文書、情報を知らせず、そのことを上司に問うとにらみ返され、時には怒鳴られる。

また、上司より「辞めたら」と繰り返し言われ、その事を上司の上の副部長に話しても、上司の肩を持ち、時として「あなたが辞めたら」と言われる。長期にわたり言われ続け、何か出来ないかと思い、相談に来たもの。

事業主からの罵倒や暴言に加え、暴力

相談者は正社員として勤務していたが、事業主の誤解に端を発する罵倒や暴言があったもの。

事業主より現金と売上が合わないで電話で怒鳴られ、翌日出勤した際には、暴言、罵倒に加え、暴力を振るわれ、診断書と退職届を郵送したところ、解雇辞令が届いたことから、パワハラに対する慰謝料と解雇による損害賠償金を求めたもの。